

もっとステップアップしたい  
社会人の皆さん

社員のスキルアップを望む  
経営者の皆さん

筑波大学と繋がりのある  
卒業生の皆さん

筑波大学大学院 理工情報生命学術院  
システム情報工学研究群

社会課題

数理的  
アプローチ

ソリューション  
創造力

# 社会工学学位プログラム(博士)

## 社会工学学位プログラムの教育指標

- |           |                                      |
|-----------|--------------------------------------|
| 1. 社会現象理解 | 理論や経験則に基づき社会現象を演繹的に理解する能力            |
| 2. データ解析  | データの分析に基づき社会現象を帰納的に理解する能力            |
| 3. 制度設計   | 社会現象の理解に基づき社会を改革する制度を設計する能力          |
| 4. 実験と提言  | 設計した制度に基づき具体的な提言や社会実験を行う能力           |
| 5. 測定と評価  | 社会実験や提言の結果を測定・評価し、1、2の社会現象理解を深化させる能力 |

社会人のための博士後期課程  
早期修了プログラム

### 最短1年で博士号を 取得可能

すでに研究業績のある社会人が、  
通常3年の博士後期課程を1年  
または2年で修了し、課程博士号  
を取得するプログラムです。

\*審査要件：査読付き学術論文2編以上  
(筆頭著者であることが望ましい)

長期履修制度

### 時間をかけての 学位取得も可能

仕事と両立しながら、最長5年  
かけての学位取得が可能です。  
最大3年分(通常修業年限)の  
授業料しかかからないため、  
経済的負担も増えません。

社会人特別選抜

### 社会人経験を 活かせる入試

1年以上の職務経験を有する  
社会人を対象に、社会人特別  
選抜を7月・8月・1~2月の  
年3回実施します。これまでの  
研究業績や経験が入試で評価  
されます。

## 早期修了1年モデル



西村 直樹  
株式会社リクルート

会社の理解もあり、業務の一部として週1回大学へ行き、輸送ゼミへの参加や指導教員との議論、講義の受講などをしていました。通常業務と並行しての研究活動は大変でしたが、短期間であったからこそ集中して取り組むことができたと思います。私自身これまでの取り組みを見つめ直すとても良い機会となりました。



赤星 健太郎  
内閣府都市可視化調整官  
(国土交通省都市政策課企画専門官)

国際的な仕事の中で博士号取得の必要性を強く感じ入学を決意しました。博士号取得後は、特に海外で一目置かれるようになり、仕事が進めやすくなりました。また、課題を解決する力に加え自分で課題を立てる力が身についたことで、人生が豊かになったと感じています。社会人でも意志があれば、博士号取得は可能です。

## 働きながら3~4年モデル



田口 壮輔  
デロイトトーマツコンサルティング合同会社

シンクタンク研究員として公共政策にかかわる仕事をする中で、博士号の重要性と専門知識・スキルをさらに磨く必要性を痛感し、“つくばの社工”的博士後期課程に戻る決断をしました。博士後期課程で学んだ知識とスキルをさらに活かすべく、現在はコンサルティングファームで社会イノベーションを支援する仕事をしています。



山本 光代  
海上幕僚監部防衛課分析室（当時）

職場からの部外研修として、博士前期課程を履修していましたが、博士号を取得したいという思いから、研修を修了し職務に復帰した後、上司の許可を得て博士後期課程へ進学しました。博士前期課程在学中から博士号取得の希望を指導教員に伝え、計画的に学会発表、論文投稿等を行っていたため、3年間で学位取得ができました。

# 社会工学学位プログラム（博士）の標準履修モデル

単位	1年次	2年次	3年次	
学位プログラム必修科目	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会工学博士特別演習Ⅰ（研究計画発表）</li> <li>・社会工学博士特別演習Ⅱ（学会発表）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会工学博士特別演習Ⅲ（中間発表）</li> <li>・社会工学博士特別演習Ⅳ（査読付き論文執筆）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会工学博士特別研究Ⅰ（予備審査）</li> <li>・社会工学博士特別研究Ⅱ（最終審査）</li> </ul>
学位プログラム選択科目	8～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会工学ファシリテーター育成プログラムⅠ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会工学ファシリテーター育成プログラムⅡ</li> <li>・社会工学インターンシップ</li> </ul>	
その他の選択科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究倫理</li> <li>・博士のキャリアパス</li> </ul>		
授業科目以外の学修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・INFOSS情報倫理</li> <li>・ティーチングアシスタント</li> <li>・学会発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究のまとめ</li> </ul>

## ・社会人でも無理なく履修が可能です。

※学位プログラム必修科目：博士論文執筆の過程で履修

学位プログラム選択科目：社会工学に関連するプロジェクトへの参加で履修可能

その他の選択科目：集中授業やオンライン授業を受講可能

・主指導教員と2名の副指導教員による複眼的指導を受けることができます。

・学会旅費の補助があります。

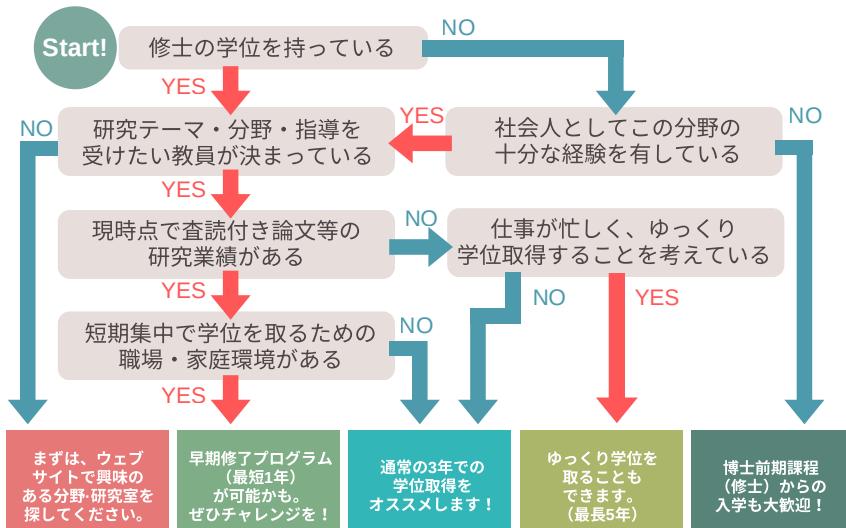
## 入学試験

	7月実施	8月実施	1~2月実施
一般入学試験			
社会人特別選抜	10月入学	4月入学	4月入学

志望動機、これまでの研究内容及び今後の研究計画のプレゼンテーション（15分程度）の後、関連事項について試問する（10分程度）。

受験生は、希望する研究指導教員と必ず事前に連絡を取ってください。

## あなたにぴったりの学び方はこれ！



## お問い合わせ

筑波大学大学院 理工情報生命学術院  
システム情報工学研究群 大学院教務

☎ 029-853-4979

✉ contact@sie.tsukuba.ac.jp

より詳しい情報については  
社会工学学位プログラムの  
ウェブサイトをご覧下さい。  
<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/>

